

「きこえとことばの教室」通級区域

きこえとことばの教室

「ことば」通級区域

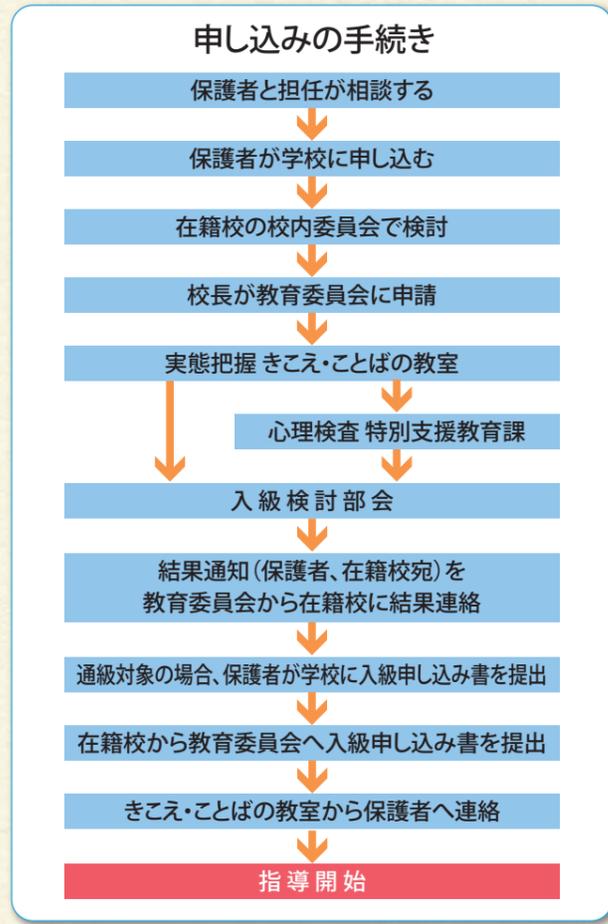
「きこえ」通級区域



特別支援教育課
(就学前教育支援センター内)



聞こえにくさがある
 発音できない音がある
 ことばがうまく出にくい
 ことばの理解や表現がにがて



小学校

小学校の「きこえとことばの教室」では、個別指導で学習面をサポートするだけでなく、プレイルームで体を動かしたり、料理や工作などの体験を通じた学習から、生きたことばを学ぶことができます。それがことばの発達や、コミュニケーションの向上に結びついていくのです。

杉並第十小学校 ことばの教室
〒166-0012 杉並区和田3-55-49
教室直通 tel:03-3318-7771

高井戸第四小学校 ことばの教室
〒167-0053 杉並区西荻南1-8-16
教室直通 tel:03-5336-9521

高井戸小学校 きこえとことばの教室(けやき学級)
〒168-0071 杉並区高井戸西2-2-1
教室直通 tel:03-3334-1299

中学校

高井戸中学校 きこえの教室(高井戸学級)
〒168-0072 杉並区高井戸東1-28-1
教室直通 tel:03-3302-5380

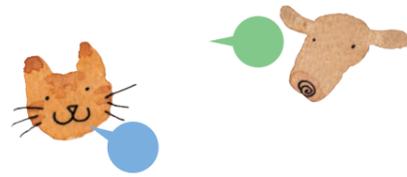
校内通級の場合は、国・英・数の教材を活用した個別指導や校内生活全般を通じて、目や耳からの情報を得るための必要な支援を受けます。校外通級の場合も、授業内容を補う個別指導や聴覚障害理解についての学習を行います。

杉並区立小中学校における 難聴通級指導学級 言語障害通級指導学級

聞くこと、話すこと、書くことが苦手なお子さんが

じっくり学べる通級指導学級「きこえとことばの教室」

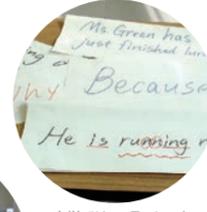
聞こえにくさやことばの悩みがあるために、学級活動や学習、友だちとの関係で力を発揮しにくい子がいます。「きこえとことばの教室」は、そのようなお子さんのための通級学級です。杉並区内では、高井戸小学校に「きこえとことばの教室」が、高井戸第四小学校と杉並第十小学校に「ことばの教室」が、高井戸中学校に「きこえの教室」があります。



体の動かし方を学んだり、友達と遊んだりするプレイルーム。(杉並第十小学校)



待合室には、子どもや保護者が読める絵本や図鑑があります。(高井戸小学校)



中学では、フラッシュカードをたくさんつくり、発音や意味の確認・練習をします。(高井戸中学校)



マジックミラーを通して参観できるようになっています。(高井戸第四小学校)



静かで落ち着いた環境で学習する指導室。(高井戸小学校)

教育方針は？ 自分に自信がもてる子に！

「きこえとことばの教室」では、子どもの意欲を育てることを重視しています。単に「勉強ができるようになる」ということが目標ではなく、自分から進んで話したり、のびのび活動できるようになることで、安定した学習の基盤がつけられると考えているからです。お子さんが生き生き活動できるようにすることが、最大の目的です。

このようなお子さんが通っています

聞こえにくさがある

両方または片方の耳に聞こえにくさがあるために、聞き逃しが多かったり、話しかけられても気付かないことがあるお子さん。

- 聞こえにくさを確認し、補聴器などを効果的に活用する力を付ける。
- 聞こえにくさを補うために、ことばを増やし、読解力を高める。
- 聞こえにくいときに、確かめようとする気持ちを育てる。
- 家庭や学校で、聞きとりやすい環境をつくってもらおう。

発音できない音がある

「さかな」が「タかな」になる、「ごはん」が「オアん」になる、「シ」「チ」など特定の音がうまく発音できない等の悩みのあるお子さん。発音がはっきりしないお子さん。

- 口や舌、くちびるの動きを高める練習をする。
- 発音するときの舌の位置や息の出方を学ぶ。
- 正しい音を聞き分ける力を育てる。

ことばがつまって出にくい

「かかか……からす」というように話し始めの音をくり返したり、「かーらす」と最初の音が伸びたり、ことばが出るまでに少し時間がかかる子。

- のびのびと話したり、表現したりする経験を積む。
- 楽な話し方の練習をする。
- 家庭や学校で話しやすい環境をつくってもらおう。

ことばの理解や表現が苦手

ことばの数が少なく、言われていることばの意味がよく分からないお子さん。うまく考えが伝えられないお子さん。

- 人とやりとりする楽しさを知り、伝えあう気持ちを育てる。
- ことばを増やし、話したり表現したりする力を育てる。
- 聞く力や、聞いて考える力を育てる。
- 文字や文を読んだり書いたりする力を育てる。

☆発達の遅れや行動面の課題が大きい場合は、きこえとことばの教室の対象とならないことがあります。

通級で個別指導をします

通うのは週1回

在籍している学校で勉強しながら、週1回「きこえとことばの教室」に通います。授業は45～90分です。

基本は個別指導

1対1の個別指導を基本にしています。一人の子どもに一人の担任の先生がつき、学習のしにくさや、生活の難しさを改善するための指導をします。必要に応じて、少人数のグループ指導をすることもあります。

個別の課題に合わせた指導内容

子どもの課題にあわせた個別指導計画を作り、指導内容を組み立てます。年齢や課題によって、一人ひとりに応じた指導内容となります。

保護者の付き添いや見学

原則として、保護者の送り迎えをお願いしています。個別指導の様子は、保護者も見学することができます。

みんなで子どもを見守ります

在籍学校との連携

子どもの様子を伝える「連絡帳(ファイル)」は、保護者と在籍学校の担任の三者で共有します。また、「きこえとことばの教室」の担任が子どもが在籍している学校での様子を参観することもあります。他にも、特別支援教育コーディネーターや、スクールカウンセラーとも連絡を取り合います。

保護者との連携

保護者会を1年に2～3回程度行い、教員と保護者だけでなく、保護者同士の交流の機会も設けています。また、講師の先生を呼んで勉強会を開くこともあります。

専門家との連携

ことばやきこえに関する専門家の先生方や、関係するさまざまな機関とも連携しています。

Q&A 保護者の疑問に答えます！

Q きこえの教室について 聞こえにくい子どもはみんな対象になりますか？

A 難聴、または難聴の疑いがあると診断された子どもが対象となります。申し込みの際に、必ず耳鼻科を受診し、聴力検査及びオーディオグラム(聴力図)を申し込み書と一緒に在籍している学校へ提出をお願いします。

Q 申し込み後の手続きはどうなりますか？

A 区の会議を経て通級が決まります。相談を申し込まれると諸検査をおこない、区の会議で通級の決定をします。その結果、「通級の必要がない」「他の支援のほうがよい」などと判断される子もいます。通級にいらなくても、相談を随時受け付けています。

Q 抜けた授業は欠席扱いですか？

A 出席扱いになります。通級中は「出席」として扱われます。「きこえとことばの教室」では、その学年の学習内容を意識しながら、子どもの年齢や課題を考えて授業をおこなっています。通級の曜日や時間は、保護者と在籍学級の担任、通級学級の担任の三者で十分話し合っ決めて。

Q 通級期間はどのくらいが一般的ですか？

A 期間は一人ひとり違います。子どもの状況や抱える課題がちがうため、通級終了の目安もそれぞれです。最終的には保護者や在籍学級の担任とともに、三者で話し合っ決定します。

Q 仕事をしていると送り迎えが難しい。

A サポート制度を利用している方もいます。原則として保護者に送迎をお願いしていますが、お仕事をされている方もたくさんいます。ご夫婦で時間の調整をしたり、ファミリーサポートセンターを利用している場合もあります。

Q わが子へのかかわり方を学べますか？

A はい。「子育てが楽になった」という声もあります。「きこえ」「ことば」に悩みを抱える子を、「育てにくい」と感じる保護者は少なくありません。しかし、通級指導の様子を見学し、担任や専門家の先生と話す機会を持つことで、「子どもとの関係がよくなった」「コミュニケーションしやすくなった」という声も多く聞かれています。